

## Title: 「シノゴのオンナ」



小林 真純  
人前に出るのは大の苦手です。もちろん写真に撮られるのも。顔つきついていませんか？

## ● 最近のエントリー

- ☞ [カブトムシじゃないー!](#)  
(2010.06.24)
- ☞ [マスマはブラザーではありません。](#)  
(2010.06.20)
- ☞ [浅井ボテ子食いすぎ!!!](#)  
(2010.06.14)
- ☞ [なぜかこの部屋だけ無線LANが飛んでいません](#)  
(2010.06.10)

## ● アーカイブ

- ☞ [2011年02月](#)
- ☞ [2010年11月](#)
- ☞ [2010年10月](#)
- ☞ [2010年09月](#)
- ☞ [2010年08月](#)
- ☞ [2010年07月](#)
- ☞ [2010年06月](#)
- ☞ [2010年05月](#)
- ☞ [2010年04月](#)
- ☞ [2010年03月](#)

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**

Your Vision, Our Future



RS2 2.0

「シノゴのオンナ」 > 2010年06月 アーカイブ

10.06.24

## カブトムシじゃないー!

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

自分はブラザーでもなければワイフでもないし、ましてやサーでもメンでもありません！  
ムスリムでもない！  
岡田と違って幅広い間違われ方をしてるなー...

◇6月18・19・20・21・22日



インド西部のジャイプルは到着早々、撮影が大変そうな街だなーと思いました。  
自分たちのホテルは新市街の静かな住宅地にあるのですが、空港からの道のりのきれいなこと。青藤先生などは大分嬉しいそうでしたが、畑の写真を撮っている自分にとってはちょっと...  
バザールを見た様子では穀物や果物、供物用の花など色々あるのですが、はてこれらは一体どこから来ているのか...

オートリクシャーのおじさんを捕まえて、こうこう こういう場所に行きたいんだけど と言ったら、英語が出来る人たちの間をちょっとたらい回しにされたあげく、今日はもう行かないとか言われました....

街の外にある畑は 街から30~40km離れていて、タクシーを使っても2時間近くかかるとのこと。その場ではかなりの値段をふっかけられたので、結局はホテルにて手配してもらいました。早朝と夕方。





インド人は意外に朝が遅いです。全体に人の気配がし始めるのが7時くらいかな？ リクシャーを頼んだam 5:00は彼らには早すぎるようでした。座席で寝ている運ちゃんを起こして撮影地へ。



早朝に撮影、  
ホテルへ戻って浅井&引率の朝食の席へすべり込み、  
部屋で休憩をしたら  
撮影済みフィルムの詰め替え。  
そしていつの間にか昼食。  
食後の休憩を挟んで  
新しいフィルムを詰め直すと、  
夕方の撮影。  
ホテルへ戻り部屋に荷物を置いたら  
またまた同宿の皆さんのいる夕食の席へ。

撮影期間は短かったし、街も全然出歩いてないインド人とも触れ合っていない！  
けれど撮影は出来たかなと思います。うん。  
撮れているかどうかは別として、レリーズは押せた。



ダージリンのブログを上げた後、  
かなりたくさんの方にアドバイスや励ましの言葉を頂きました。  
ありがとうございます。

ジョードブルはジャイプルに比べると小さい街ですが、今回はもっと砂漠へ行って撮影をしたいので手間は変わらなそうです。

こちらでの滞在日数は休養日と移動日を除くとたったの3日間。  
体調管理には気をつけますが  
妥協はしません。

カテゴリ：  
post by 小林 真純 | 日時: 2010.06.24 | [パーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トランプバック\(0\)](#)

[「シノゴのオンナ」](#) > 2010年06月 アーカイブ

10.06.20

**マスミはブラザーではありません。**

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

◇6月15・16・17日

ダージリンでの撮影は、欲求不満というか、完全不完全燃焼に終わりました...  
休養日やロケハン日の天気が良い過ぎたようです。久しぶりの撮影でその辺の感覚がなまっていたのか...



朝霧が濃いのはいつものこと。霧があるカットも撮りたいと思っていたので撮影日は早朝から茶畑に行きました。

少しずつ霧が薄くなり、最初はぼんやりと太陽の光が射してきます。そろそろかな、と三脚を立ててカメラをセットした途端...

...あれ

これは

もしや

なぜ！今！  
このタイミングで！

雨が降るんだ！

やっと陽が射してきたと思ったとこなの！

しかし、慌てず騒がずまずはカメラの撤収。それから機材を背負った状態で常備しているカッパを被ります。そして、しばし待つ。

待つ。

...待つ。

止まない！...

弱くなったり強くなったり、お天気雨の状態になったりはするけど止まない。仕方がないので宿へ。浅井に「あれ？」みたいな顔をされるも、だっしょうがないじゃないか！

この日は結局一日中雨でした。ホテルに着いた途端どしゃ降り。日が暮れかかってやっと止みはじめ、しかし山の陽は暮れはじめると早い。茶畑へ行く道は人気もろくな街灯もありません。しかもコルカタでガイドさんにダーズリンは今物騒だと脅されていたので夕方の一人歩きは自粛。

茶畑までは歩いて40分くらいです。平地・もしくは平らな道なら楽勝なのですが、坂道になると途端に息切れが... ちなみに茶園まではほぼ坂。2000mを思い知りました。特に機材を背負っている場合はちょっと行けそうで行けない場所です。

移動日前日は朝から空、というか霧が重かった。ホテルを出た時点で雲の中状態！。撮影地へ歩いていく途中で断念しました。戻ってからずっと椅子と窓の間を行ったり来たり.....そして結局晴れない。

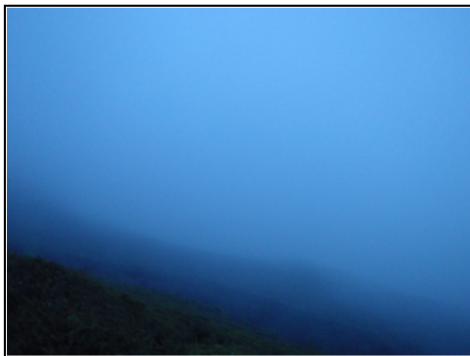
やっぱり夕方にちょっと霧が引いて、外出していた浅井が帰ってくるとD700だけを持って茶畑を目指します。700mだけなら走れるので。

茶園に着くとギリギリ霧が上がってくる前で、やがてとどんどん霧が濃くなって辺りは真っ青に。

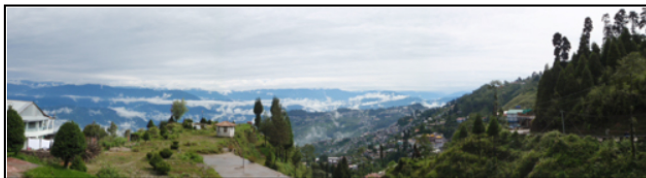




ダージリンの夜は青いんです。人家がある所はオレンジ色の明かりで染まりますが、それ以外は本当に青い闇って感じです。



この日の夜は豪雨に強風に雷。色々な物が吹っ飛んでいくし窓はガタガタ。ストーブの煙突部から雨の侵入を受けたり。夜中になぜかカーテンがひるがえっていると思ったら、どうやら風で開いてしまったよう。あんまりひどいので移動の心配をしたものの、朝にはきれいに止んでいて一安心でした。



が、まあ夜がそれだけひどくて何も無い方がおかしいか。出発の1時間ほど前に宿のおじさんが 普段の道が通れなくなっている、と部屋まで来ました。ご兄弟の方を呼んでくれて、どれくらいかかるかは分からないけど、とりあえず違う道を通って空港まで送るから、と。





ドライバーたちの中で情報が錯綜しているようで、何度か情報交換をかねた渋滞にったり。

下りだったためとちょっと時間に余裕を持って予定を組んでいたのも移動には問題ありませんでした。  
4期生の志村先輩が取材させてもらったというマカイバリ茶園を見ることが出来ました。さすがに大きかった！

そして平地では...



日差しが強いので、女性たちはみんな傘を背負って茶摘みをします。サリーとも相まって、茶畑の中ですごく映える。





今！今ここで撮影をしたい...！

ああ.....

あの油断さえなければ上でも撮れていただろうに、何で忘れてたかなー自分。気持ちと頭が繋がってなかったのか。本当しっかりしてー。  
因果応報？ 結局はあらゆることが自分の所に還ってくるわけで...

あ~~~~~

6月20日現在、滞在しているのは西の乾燥地帯 ラジャスタン州にあるジャイプルという街ですが...

...ダーズリン戻りたい



カテゴリ：  
post by 小林 真純 | 日時: 2010.06.20 | [バーマリンク](#) | [コメント\(8\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「シノゴのオンナ」 > 2010年06月 アーカイブ

10.06.14

浅井ポテチ食いすぎ！！

[Tweet](#)

いいね！ 0

[チェック](#)

今日は息が白いです。寒いー  
何気に2000m越えしてるんですね ここ。





自分たちが泊まっているホテル

ただいまインドはダージリンに来ております。まさか意地で持ち歩いてた出発時のダウンジャケットを着る日が来ようとは...

◇6月6・7・8日

出発前の3日間なんてあって無いようなものです。休養日とは言いつつ、インドに向けての買い出しや掃除やら洗濯やら、再びのパッキング（今度は撮影機材も含めて）やら、わあわあといつの間にか出発日を迎えてしまいました。

◇6月9・10日

コルカタに到着したのは9日の夕方。もうあまりひょいひょいと出歩ける時間帯ではありません。

久々の熊倉局長とミーティングをし、夕食を食べたら一日終了。

10日もインドの食べ物（&気候）に体を慣らすためのだけに使いました。ああ、コルカタの街を歩き回ってみたかった...



無線が飛んでいるので部屋に集まってくる皆

◇6月11・12・13・14日

11日はダージリンへの移動日。飛行機では直行できないので、手前のバグドグラ空港へ行きそこから約2時間山道を走ります。時々車のエンジンが心臓になるような坂を登ったり、何度も渋滞に巻き込まれたり。浅井と共に少々攪拌もされました。ベトナム再び。

どんどん小さくなる平地やいくつも越える街を数えながら、何だかとんでもない所に来てしまったかと思ったり。



この街は同化するのが難しい所です。夜が早くて夕食は夕方に済ませよう。19時頃にお店に行っただけではカレーなど出てきません。なのに一番賑わうのはその後なんですね。自分たちのホテルは街の広場沿いにあるんですが、ざわざわした空気が常に伝わってきます。ときたま五月蠅い。

それからインド人の観光客が多いのに驚きました。交通の便が悪い所なのに、やっぱり知名度でしょうか。

銃を持った軍人も常に見かけます。移動日に面白いと思ったのが、山を登るにつれてテベット系の顔つきがどんどん増えていくこと。この街では袈裟を着たお坊さんも毎日見るもののひとつです。

建物も石やレンガを使った西欧風なものから木製の山小屋風まで様々。

多人種多宗教とは言いますが、ダージリンはそれに輪をかけて異様な雰囲気のある街です。面白いけど、馴染むには時間がかかりそう...特に時間の使い分けが。





ホテルの部屋。ローシーズンなのでこれで一泊800Rs!

唐突ですが、自分が撮っているのは風景写真です。(今まで延ばし延ばしになっていてすみません;)  
といっても単なる風景写真じゃなくて、「畑」のある写真を撮っています。ここダーシリンでの担いはもちろん茶畑!

スクリーング後 初の撮影です。こわいわー

無知である意味 幸せですね。  
「逢ひみてののちの思ひに比ぶれば」とは良く言ったもので。

紅茶飲んでがんばれ自分!



なんだか怠いたら まとまりのないブログになってしまった...  
そして犬 うるさーい!!

post by 小林 真純 | 日時: 2010.06.14 | [パーマリンク](#) | [コメント \(8\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[「シンゴのオンナ」](#) > 2010年06月 アーカイブ

10.06.10

## なぜかこの部屋だけ無線LANが飛んでいます

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

◇5月30・31日

先生方が帰国すると風船がしまむらのように一気に気が抜けました。  
写真に対する気ではないです。生活の中で、ってこと。

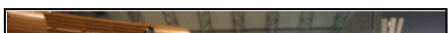
が、休み間もなくシンガポールの写真展が迫ります。

久々のパッキングは何か変な感じ。



誰のベッドとは言いませんがカオスです。腐海です。

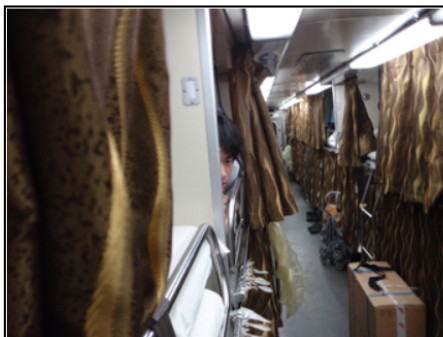
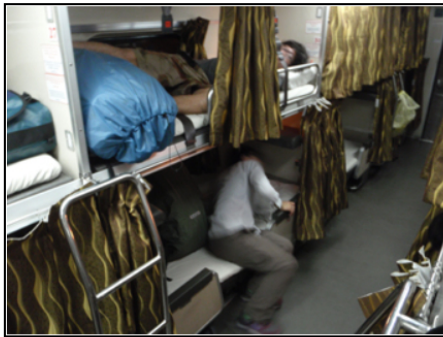
そして久々の移動







タイ〜マレーシアの列車移動を逃したので、シンガポールへは寝台列車で。



列車は思ったよりも揺れるし、音とか匂いとか、気になる人は気になるようで...

◇6月1・2・3・4・5日

逆に体力を消耗してホテルへ到着





そのままNational Geographic Storeへ。



早速準備が始まります。



例の荷物

展示の仕方が予想外だったり、マレーシアで何度かやった編集がまた一からやり直しになったりと、なかなか大変でした。

作業は Store が開いている時間にやるしかないので、もちろんお客さんもいます。みんな不思議そうに見ていくんですが、中には話しかけてくる人も。応えなきゃ、と思うかわら 編集中に話しかけないで～ とも思ったり。

疲れてホテルに帰ると、理事長・五十嵐先生・五十嵐先生の奥さんのアナスタシアさんが差し入れと共にいらっしゃいました！

...間違えた、差し入れを持って来ていただきました！

...あれあれ？

理事長はちょっとお腹まわりが大きくなったような...

アンさん（アナスタシアさん）はすごく可愛い人でした！まさか五十嵐先生の奥さんがあんな人だったとは...

マンガーが大好きなんだそうです。ちょっと不思議な気もするけど、先生もなかなか事に事主間白でお似合いなのかもしれません。（いい写真がないのが残念）

差し入れに対するみんなのテンションの高さときたら...



山分け風景

でもでも、  
どんっえにUFやきそばにハッピーーンにばたばた焼おに、  
極めつけは白の恋人！！

先生方、ごちそうさまでした！

写真展の受付は2人1組にして全員でまわすことにしました。自分は野尻とセルに。  
着物姿のツーショットは、斉藤さんたち日く

「明治時代の夫婦」

...どーせ



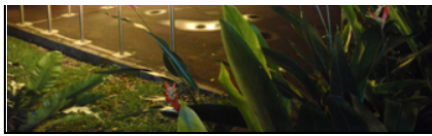
漫才夫婦みたいな二人



Storeの前で客引きをする浜口。マックで鍛えた笑顔は強かった...

この日はシンガポールのOLYMPUSの方との夕食会がありました。





ごちそうになったお店の一角

シーフードのおいしい中華のお店です。はっきり言ってすごい豪勢！OLYMPUSの方とうまく話できたのか不安です； Jimmyさん、Antonioさん、Dianaさん、Kenさん、ごちそうさまでした。

2日目は雑誌社と新聞社の取材が1つずつ。



そして3日目にはレクチャーが。



Storeの隅でトーク原稿をつくる谷本と野尻

レクチャーがあること その時に何人かが英語で話さなければならないことは、実はスクリーニング中に知らされました。ぶっちゃけマレーシアではあまり頭がそっちにまわっていなかった... 施設の大掃除や移動のための準備もあって、本格的に原稿をつくりはじめたのは実はシンガポール入国後。

ちなみに話すのは遠藤・谷本・浜口・矢野・野尻。(公平なるあみだによる決定です(笑))



五十嵐先生にも多大なる、多大なるご協力を頂き、どうにかこうにか無事に終わらせることが出来ました。





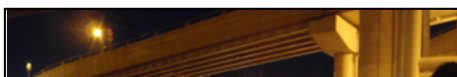
さすがに仕観

4日目は1日フリー。けれど新聞社の方が追加取材をしたいということで、午前中はホテルにて。



何だかあっという間のシンガポールであり写真展でした。  
大勢の方のご協力を頂いてはじめて出来たことです。  
日本・シンガポールのOLYMPUS様、National Geographic Storeのスタッフの方々、  
紙を提供して下さいだったピクトリコ様、先生方、そしてウォンさん、  
本当にありがとうございました。

帰りのバスでもみんなお疲れ。





帰ったらインドはすぐそこです。



カテゴリ：  
post by 小林 真純 | 日時: 2010.06.10 | [パーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[「シノゴのオンナ」 > 2010年06月 アーカイブ](#)

10.06.09

4:44

[Tweet](#)

いいね! 0

チェック

◇5月23・24・25・26・27・28・29日



先生方が采馬され、スクーリングが開始。





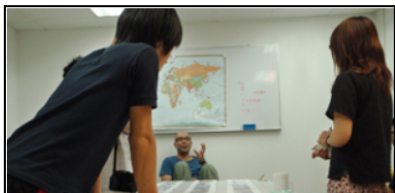
始まりは、ゼミ講師による個別チェック



そして全体講評



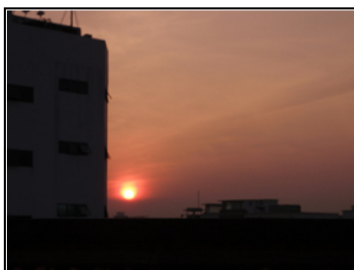
前回書いたように皆スクリーニング中も作業をしています。  
個別講評後の追加プリントを出力したり 全体講評用の編集をしたり...





個人講評は1人平均4~5時間。重複して見せている奴は約倍。  
全体講評は朝の9:00から始まり 終わるのが大体18:00~19:00。人によってはその他に課題が出  
されていたり。

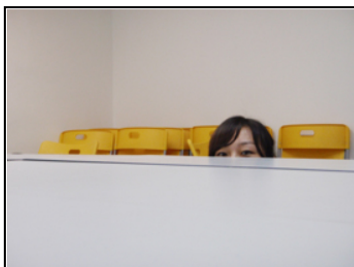
しかも一日の開始前には必ず一度集まるので寝坊なんかできません。  
ここまで来たら もう寝ないでいるしかない！！ なんてこともしばしば...



夜明け



そうすると、必然的におかしくなる奴もいるわけで...



まあ 仕方がない

そして、最後に面談



この面談は、人にもよりますがこれからの撮影計画などについてが主な内容。なのでここまで来るとみんなちょっと気が楽になります。

スクーリングの締めは全員での食事





燃え尽きてます



スクーリングを終えて、FWの前半で自分が一体何をやったのか  
何をすべきだったのか  
何がいけなかったのか  
どうしてそうなったのか  
"自分の写真そのもの"について  
人に伝えるということ  
"自分の写真をつくる"ということ  
今の自分が目指すところ

色々なことを考えさせられ、また考えることを手伝って貰いました。  
自分の写真のことを他人に考えてもらえるなんて、なんと贅沢なことかと思えます。

正直に言うと、これから自分がどうすればいいのかははっきり明確に理解した訳ではありません。  
解ったと思うところもあるし、ちょっと霞がかっている部分もある。  
それから、少しの恐れ。

FW前半は、自分にとって全くの、壮大な、必要な 無駄でした。  
自分の場合はこういう風にしか進めない。でも前半の無駄の分だけ先に進めるはず。

この"はず"というのがネックですね。できて当たり前。

果たして、自分に出来るんだろうか。写真を撮って形にすることが、  
写真を"撮れる"んだろうか。

撮影に行くのが少しこわい。  
この気持ちはインドに行ったら消えるのでしょうか。

早く消えた方がいいのか、それとも消えないでくれと祈るべきなのか

へんなところでぐるぐるしてます。

でも結局最後に行き着く所は同じなんですよー

やるしかない

post by 小林 真純 | 日時: 2010.06.09 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[「シノゴのオンナ」](#) > 2010年06月 アーカイブ

## かぶとむし

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

スクーリング準備期間のブログをあげてから約2週間経ってしまいました...  
明日には（正確にはもう今日です）インド行き飛行機に乗り込むわけですが...

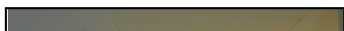
...いろいろぶっ飛ばしていいですか。

いいですよ、良いということにしましょう！  
と、いうわけで今日はスクーリング期間のおさらいから～



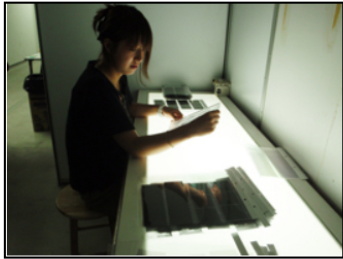
◇5月20・21・22日

準備期間で結構長い。けど1つの作業が終わると あ、あれもやっておこう、これもやっておこうと 何だかんだずっと作業しているような状態に。



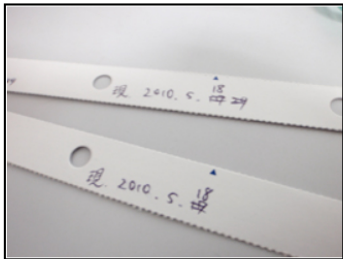


準備期間は読んで字のごとく準備期間だけれども、スクーリングを待つ時間でもある。  
この待ち時間がなかなか辛い。



始めに想定していたよりも大分疲れが蓄積される。

日付を3回も間違えたり



部屋は散らかり放題



頭がまわっていないのか、鍵を忘れて閉め出されたり



最大の敵（味方？）は眠気





寝付けなかった日の岡田の手慰み（これを書いている途中で寝たらしい）

作業の途中で寝られないので、まあ当然それぞれの生活リズムが狂っていきます。



タイリングの途中で



みんな眠い



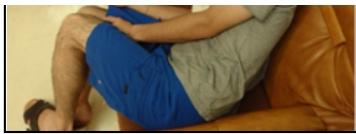
..ねむい

そして朝食に



みな、後わずかだ





油断すまいぞー



カテゴリ:

post by 小林 真純 | 日時: 2010.06.09 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)